

田原市まち・ひと・しごと創生連携会議 委員意見要旨（第3回）

（1）田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

1）雇用の創出・就労促進について

- ・臨海部の従業員アンケートの結果をみると、思ったより「共働き」や「女性の雇用」が多かった。退職後の職を求める声もあり、人生をどう過ごすのが重要になってきている。
- ・一番の問題は、新規開業を希望する人が少ないこと。そういった人を引っ張り出す事業が必要ではないか。まちづくりを進めるなかで具体的に地域ごとに必要な店、サービスが異なる。事情を知ると新規開業する人も出てくるのではないか。
- ・農業においては、後継者支援や女性の就農支援の必要性を感じている。
- ・最近では農業高等学校で勉強したうえで、市外に出て勉強して戻ってくるU I Jターンの方が多い傾向にある。その市外に出て勉強している方にもどのような対応をしていくか考える必要がある。
- ・観光地域づくりの具体的事業について、個々の事業がつながって見えるストーリーを考え、なぜ田原へ行くのか、なぜ来てほしいのかを考える必要がある。
- ・交流人口が増えれば、観光においてインフラ、宿泊施設、W i - F i整備が必要となってくるため、まずは交流人口を増やすところから考える。

2）定住・移住促進について

- ・大学生、高校生アンケート調査の結果をみると、学生が地元の企業をあまりに知らないことに驚いた。
- ・土地利用について、今回のアンケート結果を田原市都市計画マスタープラン改定委員会に報告し、今後の土地利用について反映していく。
- ・空き家活用について、中古戸建ての空き家でお試し居住することにインセンティブを与えることで、住むきっかけにしてはどうかと思う。
- ・臨海企業について言えば、九州から来ている人が多い。その皆さんは田原が好きで楽しんでくれている。田原市の良さをどうPRしていくかが重要である。
- ・買い物などの利便性を考えると、豊橋を居住地として選んでしまう。田原の土地が豊橋より安い等、情報がもっとあれば選択肢の一つになると思う。
- ・限界集落を舞台にしたドラマの中で、「まちを変えるのではなく、ひとを変えていく」という台詞があったが、その通りだと思う。田原市では多くの方が自分の代さえ良ければよい、誰かがやってくれる、と思っている人が多いと思う。自分が何かをすることが大事であり、人を変えていく施策も必要でないかと思う。

3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現について

- ・若い世代をみると、恋愛より楽しいことがたくさんあるよう感じる。女性の婚活イベント参加を促すために、田原の魅力を継続的にPRしていくことが大事だと思う。
- ・男性の婚活イベントにおいては、コミュニケーション能力を伸ばすセミナーも開催しており、出会いの事業とあわせて取り組んでいきたい。
- ・若いお母さんから夜間は豊橋市まで行かなければ病院で診察してもらえないので困る、渥美地域では公園も少ないため「家の周りを歩いて過ごすことが多くなる」との話を聞く。

4) 「安心して住める」「住んで楽しい」まちづくりについて

- ・田原市に居住地として都市的なものを必要としているが、例えば田園都市的な環境を提供するのが田原市らしいのではないか。
- ・臭い問題は、外から来た人はやはり気になるので、改善していく必要がある。
- ・道路の問題で、臨海に勤めている1万5千人のうち、6割の方は市外から通勤している。毎日渋滞がひどい。良い道路環境をつくれるように働きかけているところである。
- ・伊良湖地区を考えると住むにしても商売をするにしても遠く、お客さんも来づらい。幹線道路、信号の無い道路、もしくは片側二車線道路を伊良湖まで何とか通していただきたい。
- ・幹線道路の整備も必要だが、10月にぐるりんバスの路線等の再編があった。不具合など聞いているので、今一度市民の皆さんの声を聞いて、よりよい整備をしてほしい。
- ・総合病院が渥美病院しかない。伊良湖周辺から行くと1時間近くかかるので交通の便も併せて検討が必要である。
- ・高齢者用の施設が充実すると、外から来た人が親を呼び寄せる等、皆が住みたいまちになるのではないか。
- ・観光客から、田原市は静かでもとても良いところだ、住みたいという話をよく聞く。その後、病院がないから、買い物するところがないから、といった弱みの話をされる。年をとると車に乗れなくなるのでコミュニティバスの充実は誰もが望むことである。定住化に向けて施策の一つにしていきたい。
- ・社会情勢の変化を踏まえた項目で、住民の防災に対する意識、女性の活躍に対して特に積極的に力を入れてほしい。
- ・外国人に対する偏見が田原市民は多いと思う。外国人を皆さんに知っていただくという観点で何かできることがあればと思う。
- ・ボランティアに興味をもつ学生が多い。表浜ブルーウォークなど、田原市内で学生がボランティアをする機会を上手に活用し、「まち」と「学生」をつなぐ活動にしてはどうか。